

徳島県優良認定業者 製品・技術紹介

作成日： 2014年 2月 28日

会社概要	会社名	有限会社リフレッシュ阿南	代表者	代表取締役 遠藤 和紀
	住所	〒 774-0047 阿南市下大野町太平267番地3	備考 (会社紹介・写真など) 	(有)リフレッシュ阿南 本社
	電話	0884-22-1248		
	FAX	0884-23-0248		
	URL	http://www.tokushima-sanpai.org/refreshanan/index.html		
製品・技術紹介	有機肥料		 日和佐工場 - 肥料製造施設	
			「土壌を活性化し、安全で美味しい農作物を食卓へ」をコンセプトにした有機肥料作りをしています。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">おから、豆腐を利用した有機肥料</div>				
<p>おからの原料である大豆には、植物が育つために必要な窒素がたくさん含まれています。それを主原料とし、真空低温乾燥を行い、発酵させたりフレッシュな有機肥料です。</p> <p>【原材料の厳選】原材料は豆腐・おから・健康食品など栄養価の高い食品残渣を使用し、製造された肥料は安心・安全の土壌づくりができ、活性化された土壌は次世代に続きます。</p> <p>【こだわり処理工程】真空低温乾燥機にて、成分の劣化を防ぎ、発酵装置の手法により、枯れ草菌など配合し、“虫のつきにくい有機肥料”として弊社のこだわりの有機肥料を製造しています。</p> <p>【購入方法】フレコンパック詰め。現在肥料製造メーカーに卸として納品しており、メーカーでは肥料の使用用途に合わせ、配合を替え幅広く多種多様な肥料作りをしています。</p> <p>平成14年5月より農水・環境省「食品循環再生利用事業」の認定をうけ、現在、中国四国農政局・中国四国地方環境事務所長から食品循環資源の再生利用等の促進に関する事業所登録をうけています。</p>				

製
品
・
技
術
紹
介

化石燃料に代わる新エネルギー

大野工場-固形燃料を製造しています。徹底したゴミの分別をおこない、良質な再生品を製造しています。

フラフ



RPF



大野工場-固形燃料製造

固形燃料(RPF、フラフ)は未利用資源【廃プラ類・木くず・紙くず】から製造し、化石燃料の代替となる新エネルギーとして注目されています。

「フラフ」とは資源回収されずゴミとして出される紙くず、廃プラスチックを破砕・圧縮し燃料化したもので、カロリーが高く、燃料として品質が安定しており、火災の危険性が低いことが特徴です。

「RPF」とは「Refuse Paper & Plastic Fuel」の略であり、産業廃棄物及び一般廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な紙くず及び廃プラスチック類、木くずを原料にした高カロリーな固形燃料です。

製
品
・
技
術
紹
介



日和佐工場
徳島県内初のバイオマス蒸気ボイラーを設置。(H23年9月)

肥料製造
重油に代わり自社製造のRPFを燃料として使用し、無駄のないエコ事業経営をめざしています。

・RPFは日和佐工場で燃料として使用
大野工場で製造した固形燃料を日和佐工場の肥料施設で使用し、自産自消の循環型リサイクルに取り組んでいます。RPFは売上としては低価格販売であったが、重油の高騰により自社製造のRPFをボイラー燃料で使用することにより燃料費の大幅な節減となっています。

事業活動において、「常に環境を再生する=リフレッシュする。」といった循環型リサイクルシステムを念頭に、廃棄物処理業者としてのプロフェッショナルな意識付けをもって取り組んでいきます。

